

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、持ち直している」








項目	前回（4年7月判断）	今回（4年10月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）4年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、足下では感染が落ち着き、外出機会の増加に伴い、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約の影響が緩和され、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（4年7月判断）	今回（4年10月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
生産活動	持ち直しの動きに一服感がみられる	持ち直している	
雇用情勢	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある	
設備投資	4年度は前年度を上回る見込みとなっている	4年度は前年度を上回る見込みとなっている	
企業収益	4年度は増益見込みとなっている	4年度は増益見込みとなっている	
住宅建設	前年並みとなっている	前年並みとなっている	
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外経済の下振れが景気の下押しリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

【主な項目】

■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

百貨店・スーパー販売は、百貨店では足下で感染が落ち着き、国内客が回復するなど持ち直しており、スーパーでは外食機会が増加し、内食需要に落ち着きが見られることなどから、横ばいの状況にある。コンビニエンスストア販売及びドラッグストア販売は、住宅街などの店舗では売上が堅調に推移しているほか、都市部などの店舗では人出の増加に伴い、持ち直している。ホームセンター販売は、外出機会の増加に伴い、コロナ禍での特需に落ち着きが見られることなどから、横ばいの状況にある。

家電販売は、買替え需要に落ち着きが見られることなどから、横ばいの状況にある。乗用車の新車登録届出台数は、供給面での制約の影響が和らぎ、前年を上回っている。旅行取扱の状況は、海外旅行は引き続き厳しい状況にあるものの、国内旅行は持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 7月後半から感染の拡大に伴い入店客数、売上の伸びが鈍化した。足下では感染の落ち着きに伴い客足も戻り、昨年は中止していた催事も開催されるなど賑わいを見せている。(百貨店・大企業)
- 冷凍食品や総菜など中食の売上は好調であるものの、感染拡大時も行動制限がなかったことなどから外食機会が以前ほど減らず、特需は落ち着き、コロナ前の水準に戻りつつある。(スーパー・大企業)
- オフィス街の店舗などは、テレワークの定着などから売上が戻らないところはあるものの、今年は花火大会など開催されたイベントも多く、人出の増加が顕著であり、繁華街や観光地の店舗は好調で業況は改善を続けている。(コンビニエンスストア・大企業)
- 巣ごもり需要で好調だった園芸、DIY用品の売れ行きが悪く、また物価上昇により、全体的に消費者の購買意欲も落ち込んでいることから、売上が減少している。(ホームセンター・中堅企業)
- 買替え需要が一巡したことや、物価上昇の影響から生活必需品ではないマッサージチェアなどの売れ行きが鈍いことなどから、全体として業況は横ばいの印象。(家電量販店・大企業)
- 引き続き部品不足の影響で生産が滞っており、前期より悪化はしていないが、大きく改善もしていない状況。受注残は積み増されており、消費者の購買意欲が落ちている様子はない。(自動車販売店・中小企業)
- 感染拡大による大きな落ち込みもなく、国内の旅行需要は右肩上がり回復している。海外旅行も停止していた各方面のツアーが催行されるなど、徐々にではあるが増えている。(旅行代理店・中堅企業)
- 今期は感染拡大と台風の影響で前期に比べ売上が伸びなかった。コロナ禍で生活様式の変化もあるのか宴会など大人数での利用や遅い時間帯の利用の需要はまだ戻っていない。(飲食サービス・中堅企業)

■ 生産活動 「持ち直している」

生産用機械は半導体製造装置や建設用機械などを中心に好調である。また、世界的な設備投資需要の拡大を受けて汎用・業務用機械も好調に推移している。供給面での制約の影響も緩和され、生産活動は持ち直している。

- 半導体部門は、旺盛な半導体需要によりパワー半導体向けを中心に好調を維持。国内のほか台湾からも受注がある。(生産用機械・中堅企業)
- 北米を中心に住宅建設用の小型建設機械や小型トラクターが好調。(生産用機械・大企業)
- 経済活動の正常化に伴う設備投資意欲の高まりにより受注が回復傾向にある。(汎用機械・中小企業)
- 上海のロックダウンに起因する部材供給困難は落ち着いてきたことから、自動車メーカーの挽回生産の動きもあって、現在は生産ライン全てを稼働させている状況。(輸送機械・大企業)

■ 雇用情勢 「持ち直しつつある」

新規求人数が増加傾向にあるなど、有効求人倍率は緩やかに上昇しており、完全失業率も前年を下回って推移していることから、雇用情勢は持ち直しつつある。

- 工場の人手は不足傾向にある。生産量の増加、競合メーカーの採用増などが理由であるほか、当社工場の近くにある知名度の高い大手企業と競合することも要因。(繊維・大企業)
- 適正人数であるが、平均年齢が高齢化しており、会社を10年20年と継続していくには、若い人材の雇用を増やさなくてはならない。(建設・中堅企業)
- 繁華街では時給を上げて人の確保が難しく、一部の店舗は24時間営業の見直しを視野に入れる状況。(コンビニエンスストア・大企業)
- コロナ禍において、「飲食業は休業するので、不安定」という悪いイメージが定着しており、一時期よりは改善したものの人が集まらない状況は継続している。(飲食サービス・中堅企業)

- **設備投資「4年度は前年度を上回る見込みとなっている」**（全産業）「法人企業景気予測調査」令和4年7～9月期
 - 製造業では、生産用機械、鉄鋼など、ほぼ全ての業種で前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
 - 非製造業では、不動産などが前年度を下回っているものの、建設、運輸・郵便などが前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

➢ 研究開発拠点の拡充、生産・物流体制の強化、基幹システム関係の投資などを計画。（生産用機械・大企業）
 ➢ 物流施設への投資額が増加。（建設・大企業）

- **企業収益「4年度は増益見込みとなっている」**（全産業）「法人企業景気予測調査」令和4年7～9月期
 - 製造業では、情報通信機械などが増益となるものの、化学、生産用機械などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
 - 非製造業では、建設などが減益となるものの、運輸・郵便、卸売などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

- **住宅建設「前年並みとなっている」**
 - 新設住宅着工戸数でみると、分譲マンションが増加しているものの、持家などが減少していることから、前年並みとなっている。

➢ マンションについては引き続き好調。住宅全体でみても、足下の物価高などによる懸念があり弱含みであるものの、一定の需要がある。（建設・大企業）

- **輸出「前年を上回っている」**
 - 管内通関実績（円ベース）でみると、輸出は、アメリカ向けの鉄鋼や無機化合物などが増加していることから、前年を上回っている。なお、輸入は、前年を上回っている。

【その他の項目】

- **企業の景況感** 法人企業景気予測調査（令和4年7～9月期調査）の景況判断BSIでみると、全産業では「下降」超となっている。先行きについて、4年10～12月期は、全産業では「上昇」超の見通しとなっている。
- **公共事業** 前払金保証請負金額でみると、独立行政法人等で増加していることから、前年を上回っている。
- **金融** 貸出金残高は、前年を上回っている。
- **消費者物価** 大阪市の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）でみると、交通・通信が下落しているものの、食料などが上昇していることから、前年を上回っている。
- **企業倒産** 倒産件数は、前年並みとなっている。

3. 各府県の総括判断

	前回（4年7月判断）	今回（4年10月判断）	前回比較	総括判断の要点
大阪府	持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は緩やかに持ち直している。生産活動は緩やかに回復しつつある。雇用情勢は持ち直しつつある。
滋賀県	持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は緩やかに回復しつつある。生産活動は回復しつつある。雇用情勢は持ち直しつつある。
京都府	持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は持ち直している。生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は持ち直しつつある。
兵庫県	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は持ち直している。生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は持ち直しつつある。
奈良県	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの、持ち直している。生産活動は原材料価格高騰の影響がみられるものの、持ち直しつつある。雇用情勢は持ち直しつつある。
和歌山県	持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は緩やかに持ち直している。生産活動は持ち直している。雇用情勢は持ち直しつつある。